

59040391 高精度バウンス角ゲージ 取扱説明書

米国のゴルフフィッティング界のレジェンド、ラルフ・モルトビーが設計したバウンス角ゲージを元に、ゴルフメカニクスが改良を施したバウンス角ゲージ。アイアン、ウェッジの左右共用に対応。

〔ライ角計測〕

図1のように、フィッティングプレート端部にある保持用溝とヘッドホルダーで、ヘッドのホーゼルを挟み込み、保持させます。付属分度器の目盛で特定スコアライン数カ所の高さを確認し、基準面とスコアラインが平行になる角度にプレートを調整し、ライ角を読み取ります。

〔ロフト角/F.P/ホーゼル-ソール接地面軸長計測〕

ライ角計測後、分度器を垂直に保持し、フェイス面に図2のように当てて、ロフト角を読み取ります。また、リーディングエッジ直下のF.P用目盛で、F.Pの数値を読み取ります。図3のように、ホーゼル上端からソール接地面までの軸線長を専用ゲージで計測します。

〔バウンス角/各種ソールプロファイル計測〕

ライ角計測後、フィッティングプレートの角度を計測したロフトに調整し、図7のように、プレート端とスコアラインが平行になるよう、位置を調整して、ヘッドホルダーで固定します。プレートが適切な角度に調整されると、ホーゼルはロフト方向に鉛直となりますので、ホーゼル側面に垂直スコヤを当ててホーゼル角度を確認します。バウンス角ゲージの位置を適切にするため、ソールに対してゲージ土台を正対させ、バウンス角ゲージがリーディングエッジに対して垂直に当たるように、向きを調整します。

図4、5、6のように、ソールに関する各種プロファイル計測します。

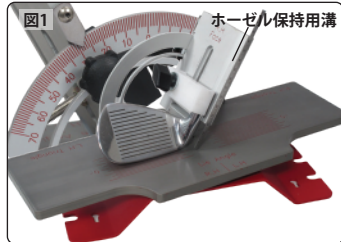


図1 ホーゼル保持用溝

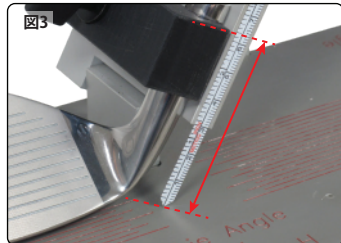


図3 ライ角計測後、ホルダー上端とホーゼル上端を合わせ、フィッティングプレート端面に、ホーゼル-ソール接地面軸長ゲージをさし込んで計測。

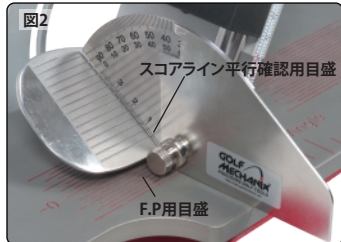


図2 スコアライン平行確認用目盛
F.P用目盛

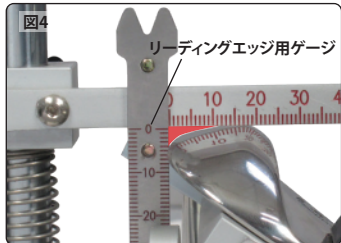


図4 バウンス角ゲージの0目盛にリーディングエッジ用ゲージを合わせ、リーディングエッジの高さと、ソール接地点の位置を計測。

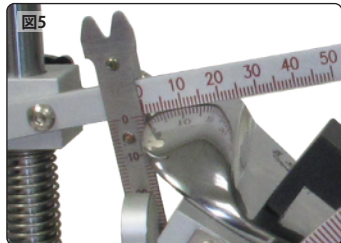
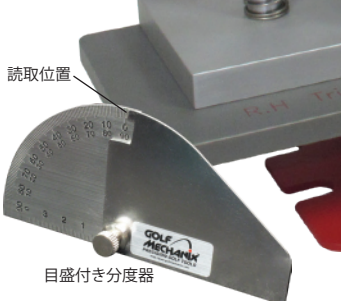


図5 バウンス角ゲージをソール面の角度に合わせ調整し、ソール幅とバウンス角を計測。

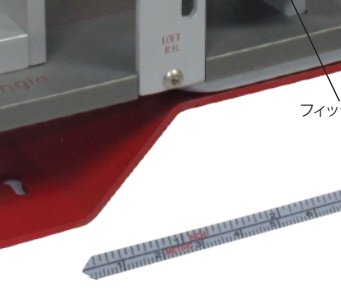


図6 ソールのラウンドが大きい場合は、リーディングエッジ用ゲージを逆に装着し、2点ゲージがソール中央に合致するように当て、バウンス計測。

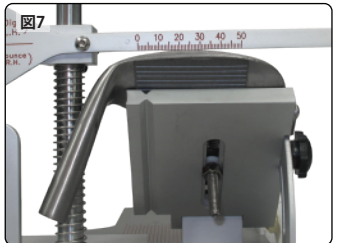
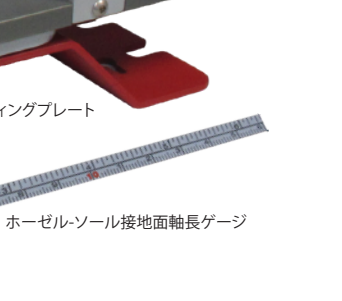
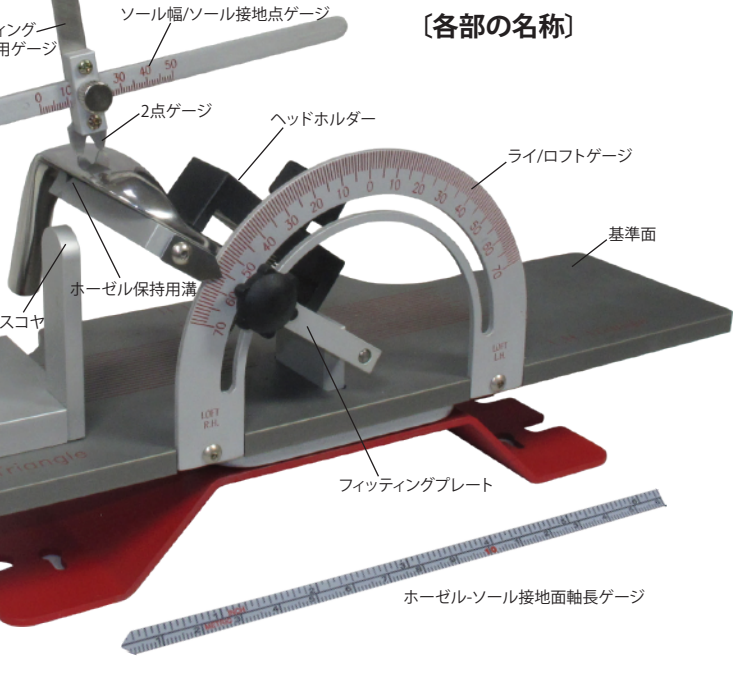
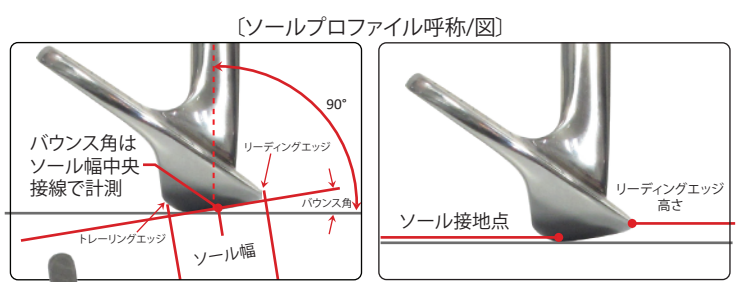


図7 スコアライン基準のライ角ではなく、ソール基準のライ角によるヘッド保持も可能。



〔各部の名称〕